



Esprit  
PRAY FOR JAPAN

2014.4  
vol.94

住所 大阪市都島区都島本通 2-9-18  
TEL 06-6923-6381 FAX 06-6923-6382  
URL <http://www.s-tus.co.jp>

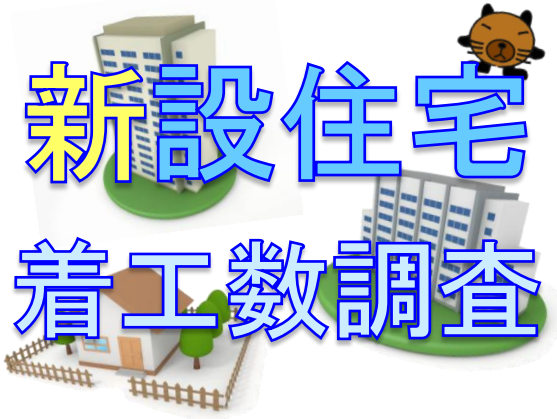
Contents \*新設住宅着工数調査 \*HEA リッチ \*税の杜

\*今月のアレンジ \*S-vie \*ダイエット日記 \*コラム

図1 平成25年新年設住宅着工数

	戸数	前年比
総戸数	980,025 戸	11.0%増 4年連続の増加
貸家	356,263 戸	11.8%増 2年連続の増加
持家	354,772 戸	13.9%増 4年連続の増加
分譲住宅	263,931 戸	6.9%増 4年連続の増加

※平成24年の新設住宅着工戸数は、882,797 戸  
前年比では、5.8%増となり、3年連続の増加



住宅着工戸数は、4年連続の増加

建築着工統計調査報告書には、毎年一年間の「持家、貸家、分譲マンション等」につき、新築の戸数調査がまとめられています。新築の増加数から読み取れるもの：景気回復感や消費税UPの影響などなど。

国土交通省が発表している建築着工統計調査報告を見ると、その年度に新設された住宅着工戸数がわかります。昨年の平成25年度の新築の供給数値を知ることで見えてくるもの：今号は、市場を知る上で重要なキーとなる新築着工戸数にまつわるレポートです。

平成24年度の前年比の5.8%増と比べると、増加率は大きくプラスしていることがわかります。(※図1)これは景気回復の影響かそれとも消費税UPの影響か？  
もう少し遡ると平成21年の増加率の大きな凹みが見えます(※グラフ1)。リーマンショックの影響です。この年、新設着工数が78万戸(前年比で▲27.9%)と激減しています。注目はその前年20年リーマンショック直前の数値と25年の数値を比べてみると、25年の数値は、リーマンショック前の80%程度の水準でしかないことがわかります。増加率は10%を超えてはいるものの、まだまだ景気回復を実感

できる水準でなく、25年度の増加率は、消費税の駆け込みの効果が大きいのではないかという見方ができます。

グラフ1 新設住宅(戸数・前年比)

